

啓発教材自己チェックマニュアル

安心ネットづくり促進協議会

2017年6月

1. 本チェックリストの目的

- (1) ICTに関する啓発活動を実施する際に作成した教材について考慮すべきポイントを「チェックリスト」としてまとめ、作成主体自らが自己点検（セルフチェック）を行い、教材の改善を図っていくことで、全般的な啓発教材の質の向上を目指します。
- (2) 本チェックリストを多数の方に利用いただくことで、ネットの安心・安全な利用に対しての一助となる事を目指します。その為に、今後も適宜内容を見直し、改訂を行って参ります。

2. 本チェックリストの対象

各地域において研修会のファシリテーター（地域の関係者を取りまとめたり、研修リーダーをされたりしている方等）として活躍されている皆さま、企業及び関係団体が、ICTに関する啓発活動を実施する際に作成した教材を対象としております。

3. 本チェックリスト利用上の注意点.

本チェックリストは、教材作成を行う上で作成者自らが最低限考慮すべきポイントが盛り込まれているかを確認する事ができるようにチェックリスト形式でまとめたものです。啓発活動を行うための運営体制までは深く言及しておりません。

また、点数による比較・評価を目的としたものではありません。教材を作成したり、改善されたりする際の目安として、ご活用いただければと考えております。

1. 各チェック項目の解説

(1) チェック内容	対象者の年齢、立場（児童・生徒・学生、保護者、教育関係者等）に適した内容となっているか。
---------------	--

- 受講者の年齢・学年などと、講座の内容があっているかどうか。
- 青少年、保護者、教育関係者（教員・教育行政など）といった、受講者の属性を意識した内容になっているかどうか。

(2) チェック内容	対象者に対して、適した表現が使われているか。
---------------	------------------------

- 受講者に対して分かりやすい言葉で表現されているかどうか。
- 受講者にあわせた解説や注釈がなされているかどうか。
- 受講者にあわせた漢字が使われているかどうか。

1. 各チェック項目の解説

(3) チェック内容	情報モラル、情報セキュリティ、情報リテラシーなどの幅広い内容の中で、何を伝えたいかが明確であり、それが対象者に伝わるものとなっているか。
---------------	--

• 例えば、フィルタリングを啓発するのであれば、「フィルタリング等で防げる内容（技術・機能）」と「防げない内容（使い方）」のように対策が的確に示されているかどうか。

(4) チェック内容	取り上げるネット利用のリスク（例えば「ILASの7分類」など）を意識して作成されているか。
---------------	---

「ILASの7分類」とは……

1. インターネット上の違法コンテンツ、有害コンテンツに適切に対処できる。
 - a. 違法コンテンツの問題を理解し、適切に対処できる。
 - b. 有害コンテンツの問題を理解し、適切に対処できる。
2. インターネット上で適切にコミュニケーションができる。
 - a. 情報を読み取り、適切にコミュニケーションができる。
 - b. 電子商取引の問題を理解し、適切に対処できる。
 - c. 利用料金や時間の浪費に配慮して利用できる。
3. プライバシー保護や適切なセキュリティ対策ができる。
 - a. プライバシー保護を図り利用できる。
 - b. 適切なセキュリティ対策を講じて利用できる。

1. 各チェック項目の解説

(5) チェック内容	取り上げるリスクに関して、適切かつ具体的な解決策を導き出せる内容になっているか。
---------------	--

- ・リスクを紹介するだけにとどまらず、具体的な解決策を説明したり、参加者の議論の中で導き出したることができるような内容となっているかどうか。

(6) チェック内容	実例を具体的に示すなど、対象者がイメージしやすい（当事者意識を持てる）内容となっているか。
---------------	---

- ・抽象的な概念だけを提示するのではなく、具体的なトラブルや事件の事例、適切な対策方法などが提示されているかどうか。

1. 各チェック項目の解説

(7) チェック内容	最新の情報が反映されているか。(陳腐化した内容となっていないか。)
---------------	-----------------------------------

- 内容を定期的に見直し・修正を行っているかどうか。

(8) チェック内容	提供する情報の真正性が維持されているか。
---------------	----------------------

- 投影資料や配布物などで利用される事例や図、調査内容などの情報に関して、正しい情報であることが担保されているかどうか。

1. 各チェック項目の解説

(9) チェック内容	提供する情報の出典元が明らかになっているか。
---------------	------------------------

- 外部から資料を引用する場合、出典が明示されているかどうか。
- 引用する内容について著作権法を遵守しているかどうか

(10) チェック内容	提供する情報が特定の事業者・団体やサービスについての宣伝や中傷になっていないか。
----------------	--

- 偏った意見や個人的な見解が含まれている場合は、その旨を提示しているかどうか。
- 特定の事業者や団体、アプリなどのサービスに対する宣伝に偏った内容であったり、誹謗中傷につながるような内容であったりしていないかどうか。

1. 各チェック項目の解説

(11) チェック内容	ネットの利活用を妨げる内容となっていないか。
----------------	------------------------

- ネットを適切に利活用することを促進するための内容になっているかどうか。
（「使う＝悪」と誤解させないこと）
- 受講者が前向きに取り組める内容となっているかどうか。